

令和5年度 短期入所事業に関する調査

1 調査の概要

(1) 目的

利用者ニーズの高い短期入所事業の実態を把握するとともに、調査で得た結果を医療的ケア児（者）の支援充実に資することを目的とする。

(2) 調査方法

質問紙による自記式調査とした。質問紙を沖縄県障害福祉課から調査対象事業所へファックス送信し、調査への協力を依頼した。回答用紙は、沖縄県医療的ケア児支援センターへの返信で取りまとめた。

(3) 調査対象

令和5年5月1日時点、県内で短期入所事業の指定を受ける112事業所を対象とした。

(4) 調査時期

令和5年6月12日～6月30日を回答期間（提出期限）とし、7月1日～7月7日を集計期間とした。

(5) 調査内容

調査種別	調査項目
基本質問	1. 提供するサービスの種類（複数回答） 2. 医療的ケア児（者）の受け入れについて
I. 動ける医療的ケア児（者）の利用受け入れに関する質問	1. 動ける医療的ケア児（者）の受け入れについて
II. 医療的ケア児（者）の利用受け入れに関する質問	1. 受け入れ対象年齢について（複数回答） 2. 受け入れ日数の設定について 3. 新規利用の受け入れについて 4. 緊急時利用の受け入れについて
III. 医療的ケアに関する質問	1. 栄養に関するケアで受け入れるものについて（複数回答） 2. 呼吸に関するケアで受け入れるものについて（複数回答） 3. 排泄に関するケアで受け入れるものについて（複数回答）
IV. 医療的ケア以外に関する質問	1. 興奮、暴行、多動、拒絶、自傷等の行動のある医療的ケア児（者）の受け入れについて 2. 受け入れを制限する行動について（複数回答）
V. その他	1. 利用の受け入れに関する特記事項（記述回答）

(6) 数値の基本的な取り扱いについて

①基数となるべき実数は、“n=〇〇”として掲載し、各割合はnを100%として算出した。

②「複数回答」とある問は、回答者が2つ以上の回答を選択してもよい問であり、従って、各回答の合計割合は100%を超える場合がある。

③問に設定されている回答以外の選択がある場合には、「その他」として掲載した。

2 調査の結果

県内112か所の短期入所事業所に質問紙を配布し、63か所から回答を得た。（回答率56%）
 医療的ケア児（者）の利用を受け入れる事業所は、回答のあった63か所のうち16か所（25%）である。

基本質問

1 現在提供しているサービスの種類（複数回答） n=63

短期入所 n=63

	医療型短期入所	福祉型短期入所
事業所数	8	53
割合	13%	84%

日中一時支援 n=63

	医療型日中一時支援	日中一時支援
事業所数	4	16
割合	6%	25%

2 医療的ケア児（者）の受け入れについて n=63

	受け入れている	受け入れる予定である	受け入れていない
事業所数	16	1	46
割合	25%	2%	73%

I 動ける医療的ケア児（者）の利用受け入れに関する質問

1 動ける医療的ケア児（者）の受け入れについて n=16

	受け入れている	受け入れる予定である	受け入れていない
事業所数	7	1	8
割合	44%	6%	50%

II 医療的ケア児（者）の利用受け入れに関する質問

1 医療的ケア児（者）の受入対象年齢について(複数回答) n=16

	1歳未満	満1歳～3歳未満	満3歳～6歳未満	満6歳～18歳未満	満18歳以上
事業所数	5	5	8	7	14
割合	31%	31%	50%	44%	88%

2 医療的ケア児（者）の受け入れ日数の設定について、日数の制限を設けているか。 n=16

	設けている	設けていない	未回答
事業所数	6	9	1
割合	38%	56%	6%

3 医療的ケア児（者）の新規利用の受け入れについて n=16

	受け入れている	受け入っていない	その他（要相談）
事業所数	11	4	1
割合	69%	25%	6%

4 医療的ケア児（者）の緊急時利用の受け入れについて n=16

	受け入れている	受け入っていない	その他（要相談）
事業所数	6	9	1
割合	38%	56%	6%

Ⅲ 医療的ケアに関する質問

1 栄養に関するケアで受け入れるものについて(複数回答) n=16

	経鼻胃管	経鼻十二指腸管	胃瘻	腸瘻
事業所数	14	6	15	11
割合	88%	38%	94%	69%

2 呼吸に関するケアで受け入れるものについて(複数回答) n=16

	人工呼吸器	気管切開	エアウェイ	吸引・吸入	酸素	排痰補助装置
事業所数	8	15	7	15	12	8
割合	50%	94%	44%	94%	75%	50%

3 排泄に関するケアで受け入れるものについて(複数回答) n=16

	導尿	浣腸	摘便	人工肛門	膀胱瘻
事業所数	12	15	13	9	11
割合	75%	94%	81%	56%	69%

Ⅳ 医療的ケア以外に関する質問

1 興奮、暴行、多動、拒絶、自傷等の行動のある医療的ケア児（者）の受け入れについて n=16

	受け入れている	受け入っていない	その他(要相談)
事業所数	6	9	1
割合	38%	56%	6%

2 受け入れを制限する行動のタイプ (複数回答) n=6

	興奮	暴行	多動	拒絶	自傷	その他
事業所数	4	4	2	2	1	1
割合	67%	67%	33%	33%	17%	17%

Ⅴ その他

1 利用の受け入れに関する特記事項 (記述回答)

- ・現状は受け入っていない医療的ケアの内容でも検討することは可能である。
- ・興奮、暴行、多動、拒絶、自傷等の行動については、児童の状態と家族や事業所の体制によって判断している。
- ・動ける医療的ケア児や、受け入れの対象年齢、新規利用、緊急時利用等は要相談。
- ・職員配置の都合で、利用は要調整である。

- ・看護師が常勤ではないため、看護師の配置が整った日のみ利用を受け入れている。
- ・新規の利用や緊急の利用、行動面で配慮を必要とする利用については、体験後に受け入れを検討している。
- ・慣らし目的での日帰り利用を何度か重ねている。
- ・人工呼吸器等が必要で、医療的ケアが多い子を優先して受け入れている。